

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 各プログラムに取り組みやすいように環境設定を行っている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 児童指導員1名、専門職1名を常勤配置している。保育士、臨床心理士、作業療法士、社会福祉士、教員免許保有者が在籍している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 階段に電灯の設置を行った。事業所内には段差はないが、事業所前の階段には一部手すりがなく、手すりの設置等を検討している。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 保護者・利用者からの意見をふまえて、職員間で業務改善案の確認を行っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 保護者等の意向をふまえておこなった業務改善等について、会報の発行回数を増やすことを検討している。また、保護者が活用しやすいように相談体制の充実をはかり、保護者等の意向等を把握していくことを検討している。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 公開している |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 外部の社会福祉学の学識者や関係領域の見学者を受け入れ、改善点などの意見をいただいている。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 虐待防止研修や権利擁護研修、個人情報研修、障がい特性についての研修などを行っている。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 保護者や関係者からの情報、利用時の様子、発達検査等の結果などから計画を作成している。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 臨床心理士が適宜実施している。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 週案、月案などをミーティングの中で話し合いながら決めている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 意欲を持って取り組めるような工夫をスタッフ間で立案、実施している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 基本的にはいつもと変わらないプログラムを運営しているが、季節行事も考慮している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | モニタリングや振り返りを通じてスタッフ間で話し合い、何を課題とするのかを共有している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 始業時と支援前にミーティングを行い、利用児童やプログラムの確認などを行っている。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 支援終了後に、全利用児童の振り返りと次回以降の支援についてのミーティングを行っている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 活動中のサービス提供記録、活動後の支援記録を毎回行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | 状況に応じて個別支援計画の見直しを行っている。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | ○ | | 学習支援、創作活動、グループワーク等を組み合わせた支援を行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | 心理士が参加している。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | | ○ | 保護者さんを通じて調整していただいていることが多いが、ケースに応じて対応している。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 医療的ケアが必要な児童がいない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 共有できる情報については出来る限りさせて頂いている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | ○ | 移行したケースがないが、機会があれば対応する。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | ○ | 研修・助言があれば適宜参加する |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 保護者・利用者からの要望の有無を踏まえて、今後検討していく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 機会があれば参加している。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 送迎時や毎回の提供記録などを中心に情報の交換をしている。要望があれば面談・電話等での相談に応じている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | 家庭での関わり方や児童への対応方法など適宜相談に応じている。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に説明を行い、疑問などがあれば随時説明を行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 家庭での関わり方や児童への対応方法など適宜相談に応じている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 希望される方もされない方もいるので、慎重に検討している。 |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 事業所内も掲示はしているが、集計結果から周知が十分ではないので、周知できる方法を再考している。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ○ | 会報の発行間隔や回数について検討している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 個人情報を含むものは施錠できるロッカーで保管している。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | どのような配慮が有効であるかを検討し、絵カードや文字盤などを利用している。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | イベント等を行っていない。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | マニュアルは作成しているが、保護者さんへの周知が出来ていないことが窺えるので、改めて情報を発信していく。避難訓練を定期的に行っているが、回数などを再考する。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 避難訓練を定期的に行っているが、回数などを再考する。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 権利擁護研修や虐待防止研修を行っている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | 契約時に説明を行っているが、現在まで身体抑制を行うケースはない。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | アレルギーについて確認を行い、おやつを提供している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | 事例集を作成している。 |